

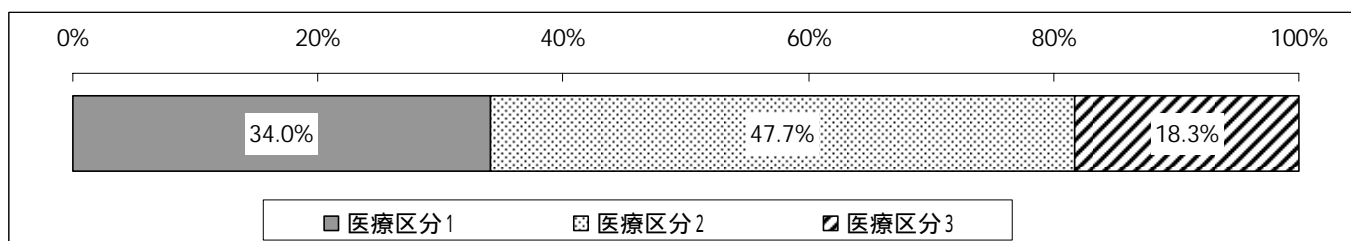
療養病床転換意向等アンケート調査結果：施設票（概要）

病床数・入院患者数（本文 P1）

	病床数	入院患者数
医療療養病床	10,946	9,314
介護療養病床	7,633	7,292

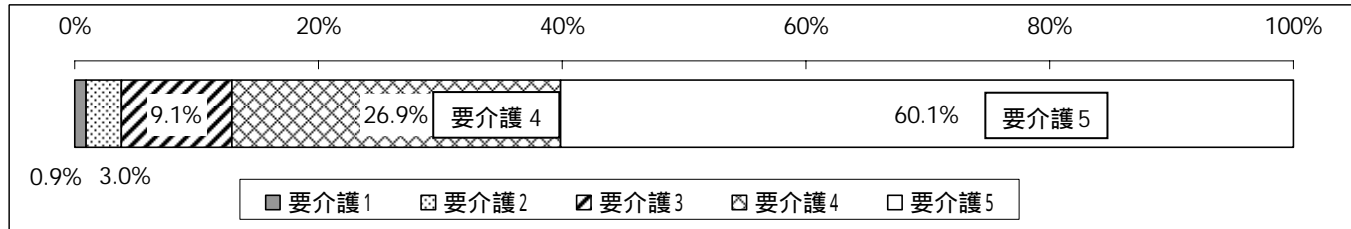
医療療養病床における入院患者の医療区分（本文 P2）

医療区分 1 が 34.0%、医療区分 2 が 47.7%、医療区分 3 が 18.3%であった。



介護療養病床における入院患者の要介護状態等区分（本文 P3）

要介護 5 が 60.1%で最も多く、要介護 4 が 26.9%を占めた。

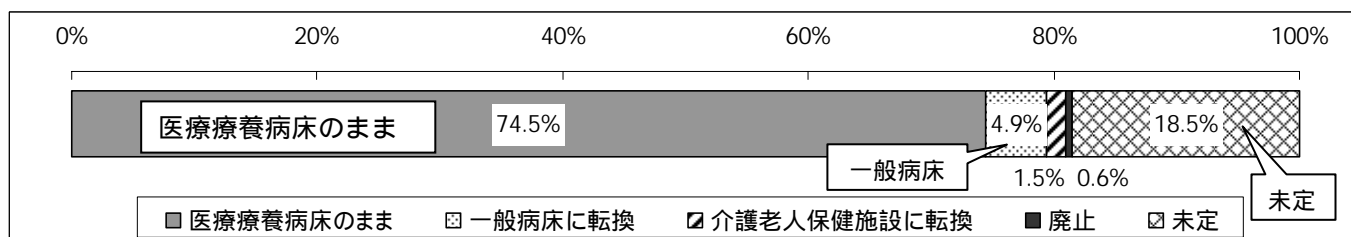


医療療養病床における転換意向（本文 P4）

平成 24 年度には、現在の医療療養病床のうち、74.5%に当たる 8,169 床が医療療養病床にとどまる。

転換意向は、4.9%に当たる 534 床が一般病床に、また 1.5%に当たる 168 床が介護老人保健施設への転換を予定している。

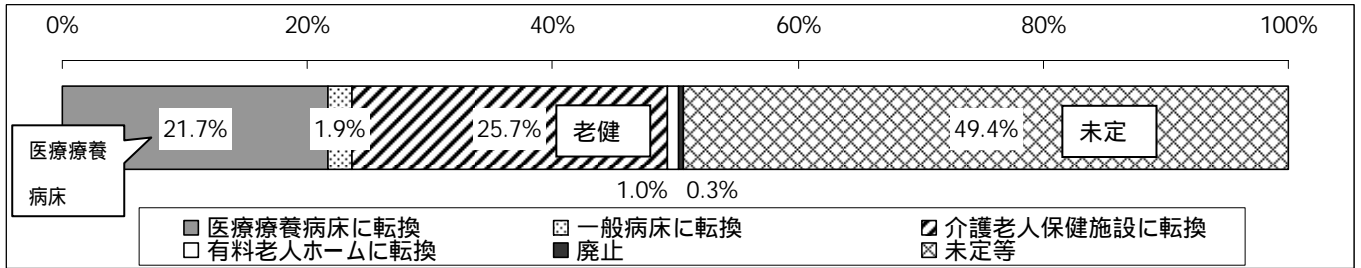
ただし 18.5%に当たる 2,030 床については、転換意向が未定となっている。



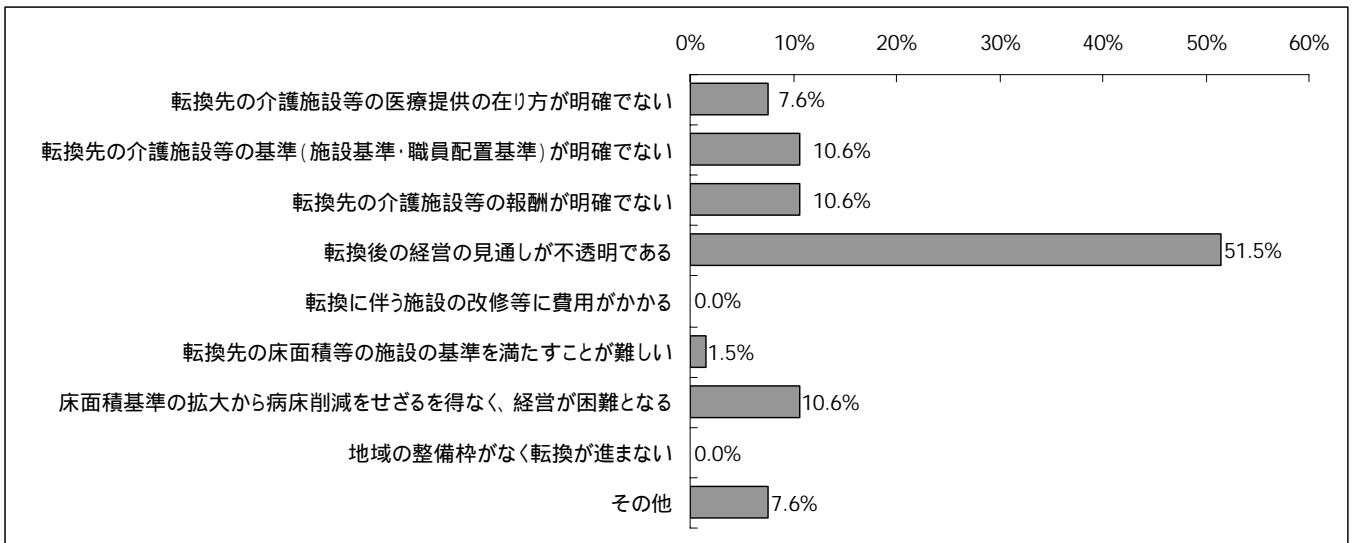
介護療養病床における転換意向（P5）

平成 24 年度には、現在の介護療養病床のうち、21.7%に当たる 1,659 床が医療療養病床に、1.9%に当たる 142 床が一般病床に、また 25.7%に当たる 1,961 床が介護老人保健施設への転換を予定している。

ただし 49.4%に当たる 3,767 床については、転換意向が未定となっている。



転換意向が未定である理由（P6）



療養病床転換意向等アンケート調査結果：患者票（概要）

抽出患者数

医療療養病床	介護療養病床
2,853 人	2,194 人

（ほか、入院病床無回答 58 人あり）

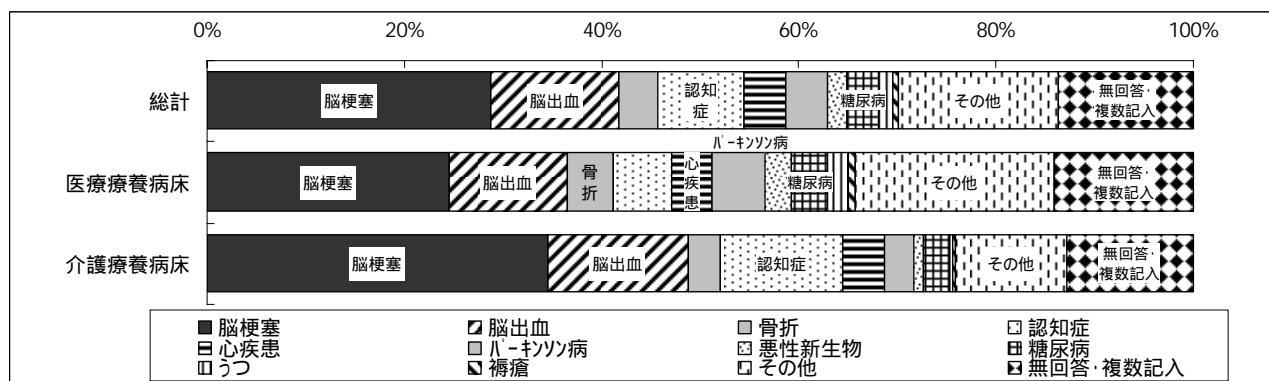
年齢（本文 P7）

（平均年齢）入院患者全体	81.1 歳
医療療養病床	79.4 歳
介護療養病床	83.4 歳

主傷病名（本文 P10）

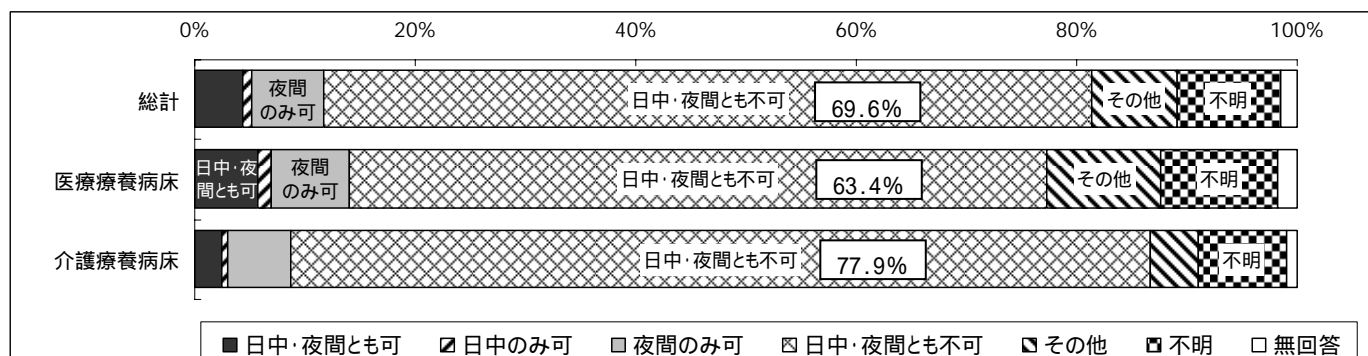
医療療養病床・・・脳梗塞と脳出血を合わせた脳血管疾患が 36.6%で最も多く、次いで認知症（5.9%）となった。

介護療養病床・・・脳梗塞と脳出血を合わせた脳血管疾患が 48.8%で最も多く、次いで認知症（12.5%）となった。



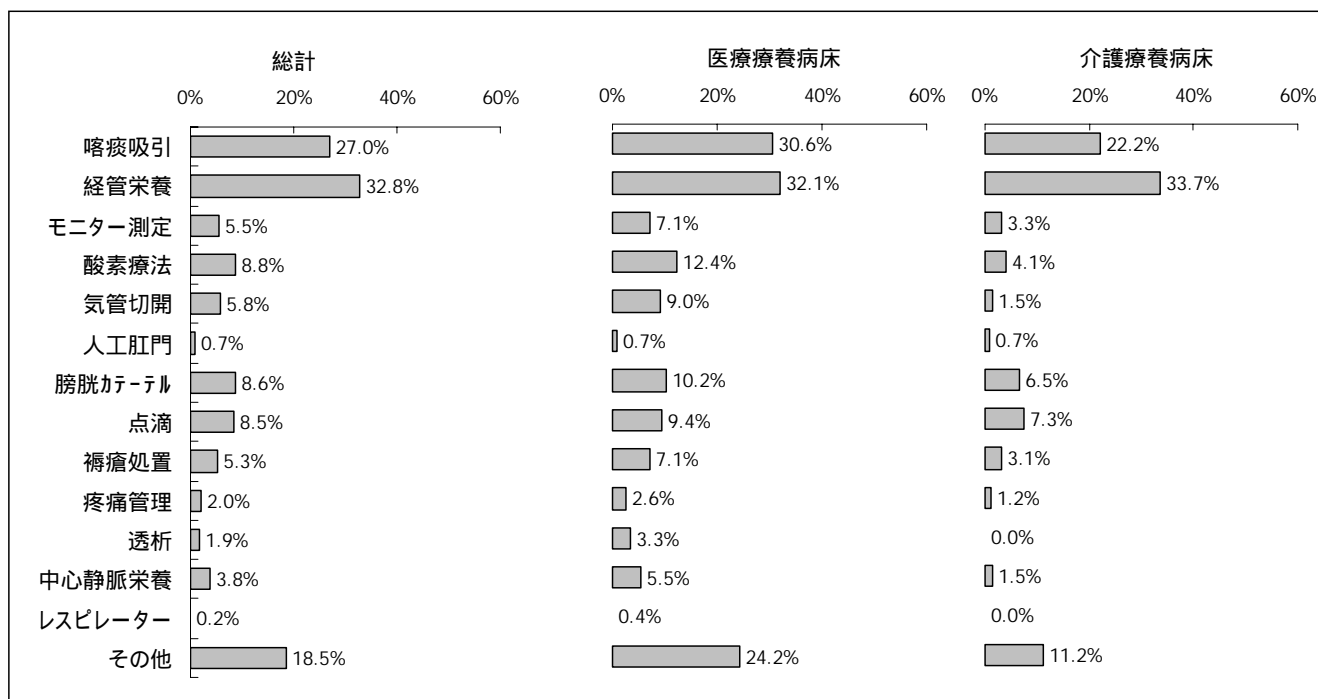
自宅での介護者の有無（本文 P25）

全体では日中・夜間とも介護者がいない者が最も多く（69.6%）、次いで夜間のみ介護者がいる者（6.5%）であった。



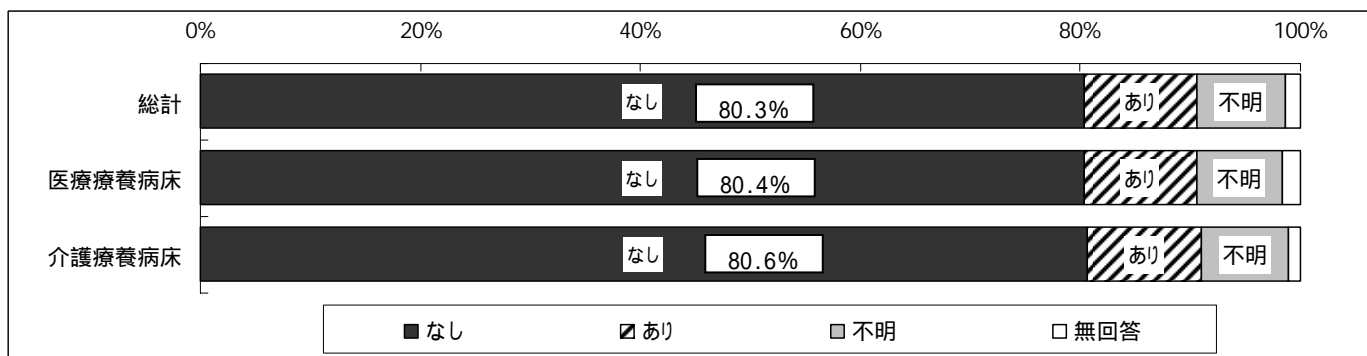
医療処置（複数回答）（本文 P28）

医療療養病床、介護療養病床ともに喀痰吸引と経管栄養が多い。



3ヶ月以内の急性増悪の有無（本文 P36）

医療療養病床、介護療養病床ともに「なし」が約8割を占める。



それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性を踏まえ、居住する場として望ましいと考えられる施設（P37）

全体・・・医療療養病床が最も多く（45.6%）、次いで特別養護老人ホーム（20.7%）、介護老人保健施設（9.4%）であった。

医療療養病床・・・医療療養病床が圧倒的に多い（53.4%）。

介護療養病床・・・医療療養病床と特別養護老人ホームが同程度（35.7%、31.3%）。

